古草雙代り畳拾まき

207
828

国立国会図書館　扇冨士曽我物語 3編 207-827

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

古今亭三鳥戯作

一圓斎國丸画圖

大當桂月弓

文化丙子春發閏

江戸書舗　春松軒上梓

上の巻

[illegible]くまるの[illegible]の巻よ柳の糸もて綴る絵冊子も是ハ[illegible]
[illegible]かゞせ背徳と[illegible]してとそれ[illegible]をひそめ[illegible]の
本まで[illegible]作よつぎてる世話時代[illegible]きのふやけふも[illegible]の[illegible]や
[illegible]其の御[illegible]三馬のおもしろさ[illegible]ハ足をくみる[illegible]下[illegible]
の[illegible]月[illegible]の[illegible]ハ[illegible]のき偏に[illegible]月の[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828
ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

文化十三丙子新版目録

外題	作	画	冊数
昔帯の艶好 今織市彩 艶容歌妓結	式亭三馬作	歌川國貞画	全七冊
善悪両面 合鏡女風俗	式亭三馬作	歌川國直画	全五冊
盛衰記談 時世話夏 春霞接穂百花魁	古今亭三鳥作	哥川國直画	全六冊
花咲綱五郎 本町育戯作清書	古今亭三鳥作	哥川美丸画	全三冊
於半長右衛門 大當桂月弓	古今亭三鳥作	哥川國丸画	全二冊
若紫 女可奈 梅櫻對擢八	東西庵南北作	柳川重信画	全六冊
弥三郎娘 弾三郎組 小萬畠雙生種蒔	佐渡国人 平夏海作		全六冊
慈悲擁護 松春邊出世景清	樂斎山壽作	哥川國直画	全三冊
混雑替史 忠臣蔵曽我物語	樂斎山壽作	哥川国丸画	全二冊
三柳野信夫 鄽七累平 園碁素市語	樂斎山壽作	歌川國直画	全六冊

地本 並義太夫 正本 稽古本 問屋 元祖
江戸本材木町一丁目
春松軒 西宮新六版

つゞき [illegible]

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

東里山人作
歌川國信画
全部二冊

大當八卦
安部晴明辻笠帖
開巻早見道

文化十三年
丙子新板

横山町二丁目
岩戸屋喜三郎板

大當八卦清明辻笠草紙序

古史考にのりく庖犧氏卦を作る是卜筮の始なりと云丈覆つて外なきは乾天の徳乗て捨ることなきは坤地の理あり震雷の響に驚し巽風艸を偃すも呈すの深きと坎水のごとく術の高きこと艮山に似たり離に八合に輝き兌澤の恩恵四方に施を安倍の清明が虎の威を借て表紙となるものと云つのみ

丙子春販
新繪草紙

東里山人誌

江戸横山町二丁目
岩戸屋喜三郎梓行

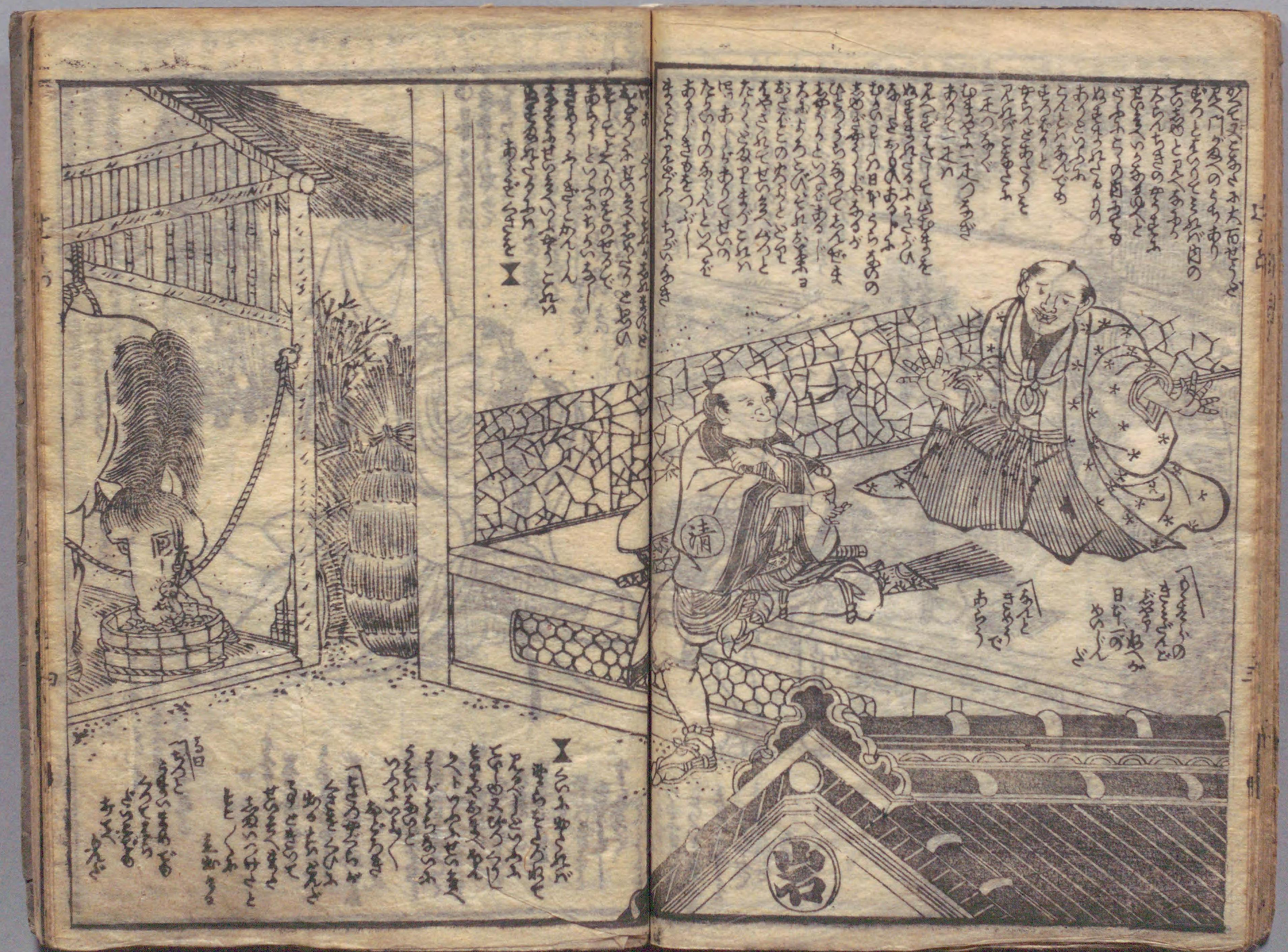
国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828
ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用



国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828
ガラス使用

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

新板化物念代氣

本材木町一丁目
春松軒藏板

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828
ガラス使用

深山の鬼

天怪

赤面てんどうじ 大江山に 鬼が城を きづく

頼光 大江山入

二

青鷺怪物の事 化鷺るころ 姿を 見て 五位に 叙す

二

あかごの事 丹波の国にて 血のつゝき の代 わらふ 川の名 赤く あがる

三

林本海岸の本 うぶめどり 石のでき 子代 産む

怪異

火口筆の火 王蟇が 時より きつねび とがる

四

古井戸の事 播州皿屋敷 あり、さらさと かぞへる 九ツめにて 出る まよくぎき 亡びる

鏑の金

変化

文福茶釜 茂林寺

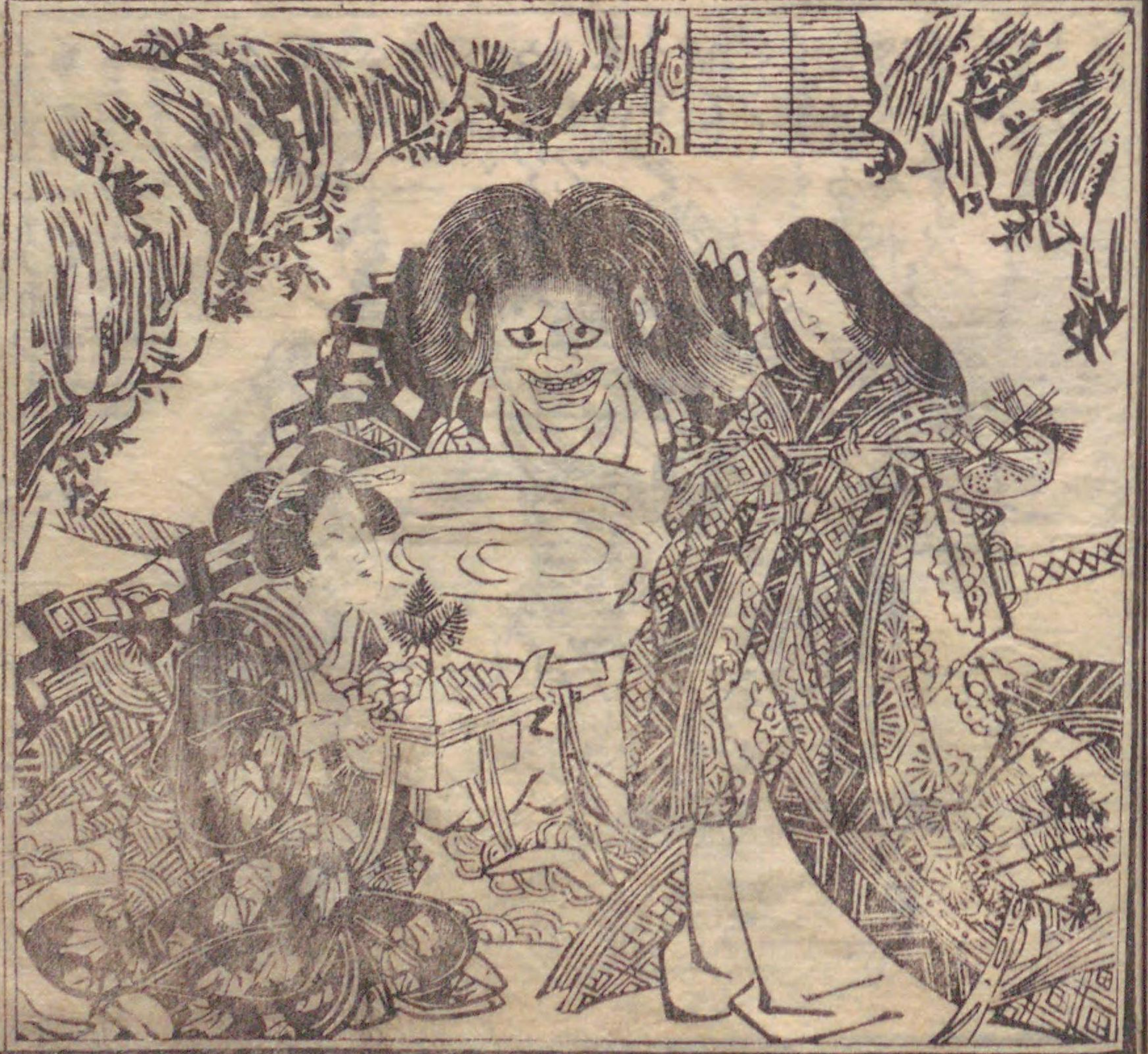
化物退治 なやる

岡崎 嫁

二

二股猫 三毛ねこ

ぐらけ わらそひ



化性

土舩の土
古狸腹つゞみ
ひゞきられでし

二

目の老りの金
三ツ目りんきはして
見越入道と号く

三

撞木の木
大津絵
鬼のねんぶつ
修書

四

ともしびの火
百鬼夜行
百物語
とりしまる
ともしび九十九本を消る

化

五

大海乃魚
魚ゆられハ
栖柄を
とらへ
その紙ぬのごとく
こまかを

六

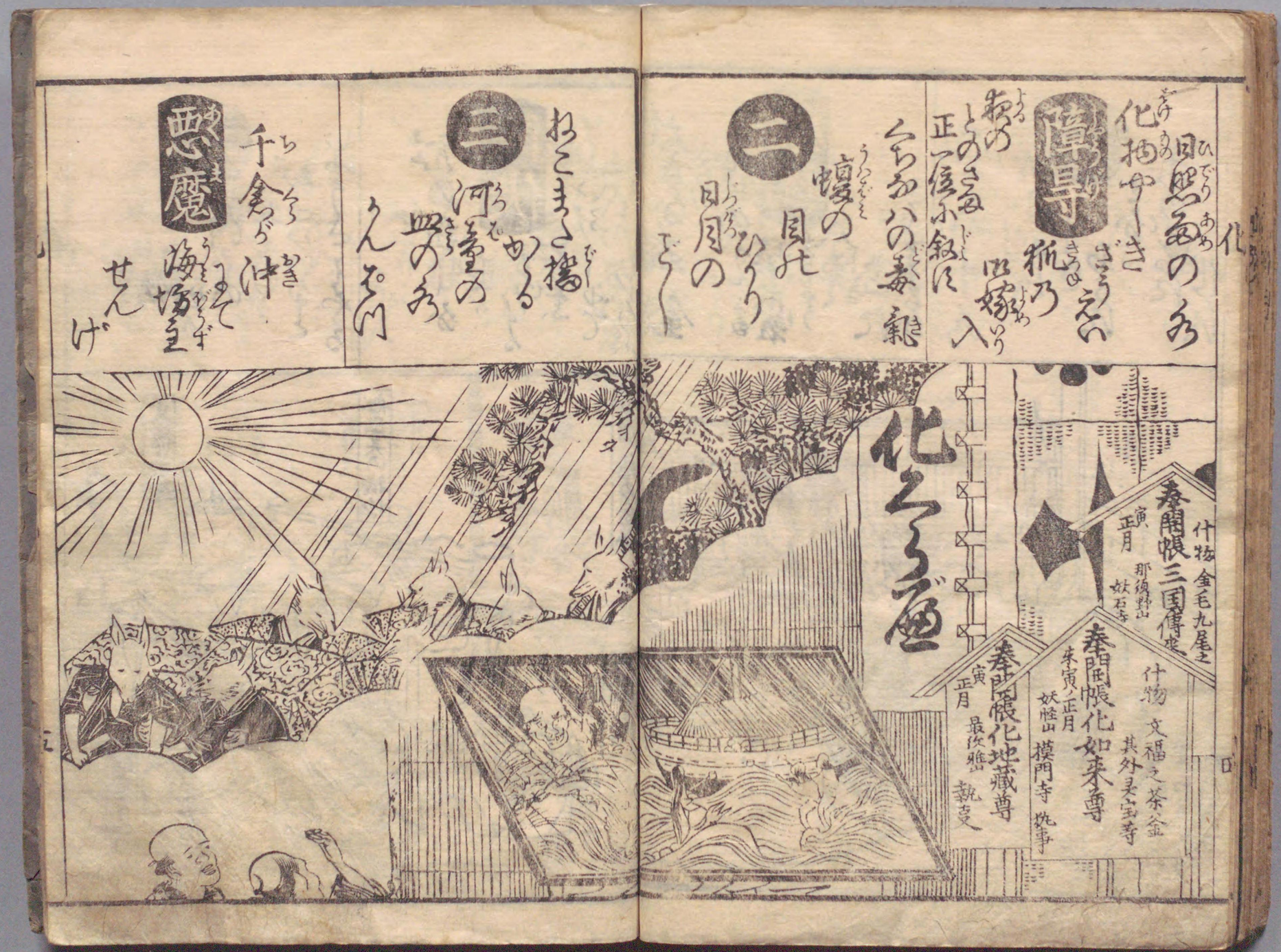
らうそくの火
うしのとれ
ゆらめり
柳のたき
ゆるる
よりかく
ゆられハ出る

魔性

ちきなか玉金
狸の陰嚢
八畳敷に
さぞまるか

二

眉毛をぬらす魚
大尾小判紙
まきちらし
これかあの毛に化ル



国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

化

二

ろうふ小僧出る からかさの おばけが でおさいのうと いふうさをやる

降伏

穴のむじなが 霊なる 松葉で いぶしゆで たるぶ

二

山屋の恐ろ木 狼ふえも 夜を 編ん 送り狼と おくり号ん

退治

泰平の土 もとねらふ 武地 狸ヤドの者と ばけものを 禁ぶぞ

七

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

男女魔性（ましやう）あいしやうの事
大吉
ゆき女の水
吉
半吉
山をとこの土
凶
鬼のねんぶつの金
凶
山男のすがた

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用

○魔性名頭字

猫	多	海	夢	見	五
又	貫	同	耶	越	猿
喜	勝	大	勇	入	佐
常	波	竜	礼	道	義

○六妖精乃事

三目（みつめ） うしみつころめ ひろるころ いづれもいやかあるり

一目（ひとつまなこ） いろめをつかわれ くびながゞおいくく

丑満（うしみつ） おさきまわりとるるハ 大あくあやうなん之

年時 ざけのゝけもろく 大あんしんなり

般若 くらもくびけよ しめのくもされよ

猫眼（ねこのめ） あぐりやさぐりやぐあり とまわつてねイるめ

深底急作之圖

○化物を知る事

○巳のとしハへびなり
春のひがんの日ハ だけ出る
秋のひがんの日ハ ぬけて入る
△へび八十才にして [illegible]
[illegible]
○蛇ハ [illegible] の葉の [illegible] ぬけ出る
○狐の [illegible] 川の中へ だけに入る
○役者ハ [illegible] だけに [illegible]
これをか世の中の だけものなり

文政二歳己卯新鐫

松會 読本 竹本正本 引書語三枡大夫 式亭三馬作 歌川國貞画 六冊	己惚鏡の藝者 すゞ鏡の全盛 傾城草履打 東西庵南北作 柳川重信画 六冊	花園 平三 四季物語廓寄生 古今亭三鳥作 歌川美丸画 六冊	茶番早合點 本町庵三馬戯作 國貞画 中本 全一冊
再板 似類 基太平記白石噺 四季山人校正 歌川國貞繪 五冊	台鏡婦女俊寛 羽光亭笑壽作 勝川春扇画 六冊	天満宮御利生 平野手徳兵衛 艤浮名取楫 古今亭三鳥作 歌川美丸画 三冊	新板 化物念代氣 晋米齋作 歌川國丸画 全三冊

江戸本材木町壹丁目 地本義大夫問屋 春参軒 西宮新六版

国丸画

藍亭晋米作

国立国会図書館　大当桂月弓 2巻 207-828

ガラス使用